

## 研究機関名：東北大学

受付番号： 2010-507
研究課題名 術後食道癌孤立性リンパ節転移再発に対する化学放射線療法に関する後ろ向き研究
研究期間 西暦 2011年4月（倫理委員会承認後）～2012年3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療情報 ）
上記材料の採取期間 西暦 2000年1月～2009年12月
意義、目的 根治手術療法後の食道癌にて孤立性のリンパ節転移再発を来した症例に対する化学放射線療法の治療効果および予後因子の評価を行う。 近年、術後再発食道癌においても化学放射線療法にて治療成績の改善を認めるが、これまで孤立性のリンパ節再発に対するまとまった報告はないが、多発症例に比べて予後が良好であることが予測される。近年、画像診断の発達により早期発見が可能となり、孤立性リンパ節転移の時点で放射線療法を受ける患者が増えており、このような症例の治療内容を考えるにあたって高い意義があると思われる。
方法 2000年から2009年までに東北大学病院放射線腫瘍科にて放射線化学療法を行った手術後の孤立性リンパ節転移再発を来した症例に対し、診療情報から後ろ向き臨床統計を行う
問い合わせ・苦情等の窓口 東北大学病院放射線腫瘍科 助教 神宮啓一 TEL 022-717-7312